

1月臨時市会
にあたって

市民のくらしが大変ないまこそ しっかり働く議員が必要です

市民の声を切りすてる
議員定数削減には賛成できません

1月24日から、「京都党」が提出した直接請求にもとづき、京都市会の定数削減を議題とする臨時市会が開かれます。

住民の多様な意見や要求が正しく議会に反映されるためには、一定の議員数が必要です。日本共産党は、「少なければ少ないほどいい」という、やみくもな議員定数削減は、住民の声を議会に届ける道を閉ざし、民主主義への逆行となり、賛成できません。



「京都党」とは

「京都党」代表の前市議は、「市長与党の末席を汚す一員」(06年11月)と「オール与党」の立場を自認。ムダな高速道路建設や国保料値上げなど市民負担増にすべて賛成してきました。また京都財界が求め巨額の京都市負担が予想される「リニア新幹線」の京都市誘致を主張しています。

これでどうして、財政再建や「議会改革」ができるのでしょうか。

市民の立場で「オール与党」市政を厳しくチェック
日本共産党はこの立場で

これからがんばります

市長の提案に何でも賛成の「オール与党」では、市民のくらしはよくなりません。日本共産党はこれまでも、同和特別扱いと京都高速道路計画や焼却灰溶融施設など京都市のムダづかいにメスを入れ、改善させてきました。



議員報酬削減提案など

「議会改革」をリード

日本共産党議員団が昨年11月市会に提案した「議員報酬3割削減」は、自民、民主・都みらい、公明の3会派によって否決されましたが、報酬削減を含む議会改革論議をひきつづき行うことが全会派一致で決まりました。年明けから議論が開始され、一歩前へすすみました。費用弁償(日当)廃止なども含め引き続きがんばります。



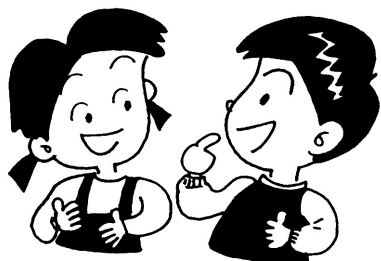
日本共産党の提案で これまでに実現した議会改革

- 市会議員の市バス・地下鉄無料パスの廃止
- 政務調査費の1円からの領収書公開
- 海外視察の自粛
- 費用弁償(日当)の50%カットなど

日本共産党
市議会報告

日本共産党市会議員団は上記の見解を発表しました。
2011年1月号 発行：日本共産党京都市会議員団
〒604-8571 京都市中京区河原町御池 京都市役所内

日本共産党と市民のスクラムで ぐらしの願い前進へ



議員や議会は暮らしにとって大事な役割がある

こげつ まさみ
古結真美さん(京都市左京区在住)

普通の市民の目線で行政をチェックするのが議員の役割だと思います。私たちの声を代弁し、議会でがんばっている共産党には、今後もその役割を発揮してほしいです。

全てをひとまとめにして、議員を減らせというのは乱暴な意見だと思います。市民の暮らしを守る上で、議会、議員の果たす役割は大きいのです。

② 子どもの医療費——通院も小学校卒業まで無料に

京都市の子どもの医療費無料化は「通院・3歳まで200円」というきわめて低い水準の制度です。全国では対象年齢を拡大し、京都府内の市町村では独自に府の制度に上乘せして、高校卒業まで無料の自治体もあります。にもかかわらず、京都市だけが府の制度と同じで低いままで。

実現へ

市政を動かすのは市民の声です

「2つの署名」にご協力ください

① 高すぎる国保料を引き下げ、保険証取り上げの中止を

京都市の国保料は2年連続で値上げされましたが、国保会計は2年で24億7千万円の黒字です。「高すぎる国保料を下げしてほしい」という願いに緊急に 대응すべきです。また、保険証の取り上げはただちにストップすべきです。



1月からワクチン接種が無料に

子宮頸がん予防ワクチン

中学1年生～高校1年生の女子
(3回接種)

ヒブワクチン

0～4歳の乳幼児
(接種回数は開始年齢により異なります)

小児用肺炎球菌ワクチン

0～4歳の乳幼児
(接種回数は開始年齢により異なります)

※多くの乳幼児を育てるみなさんや医療関係者から要望が出されていました。

